

# 看護職員の現状

三重県医療保健部  
医療人材課

# 1 医療提供体制を取り巻く状況

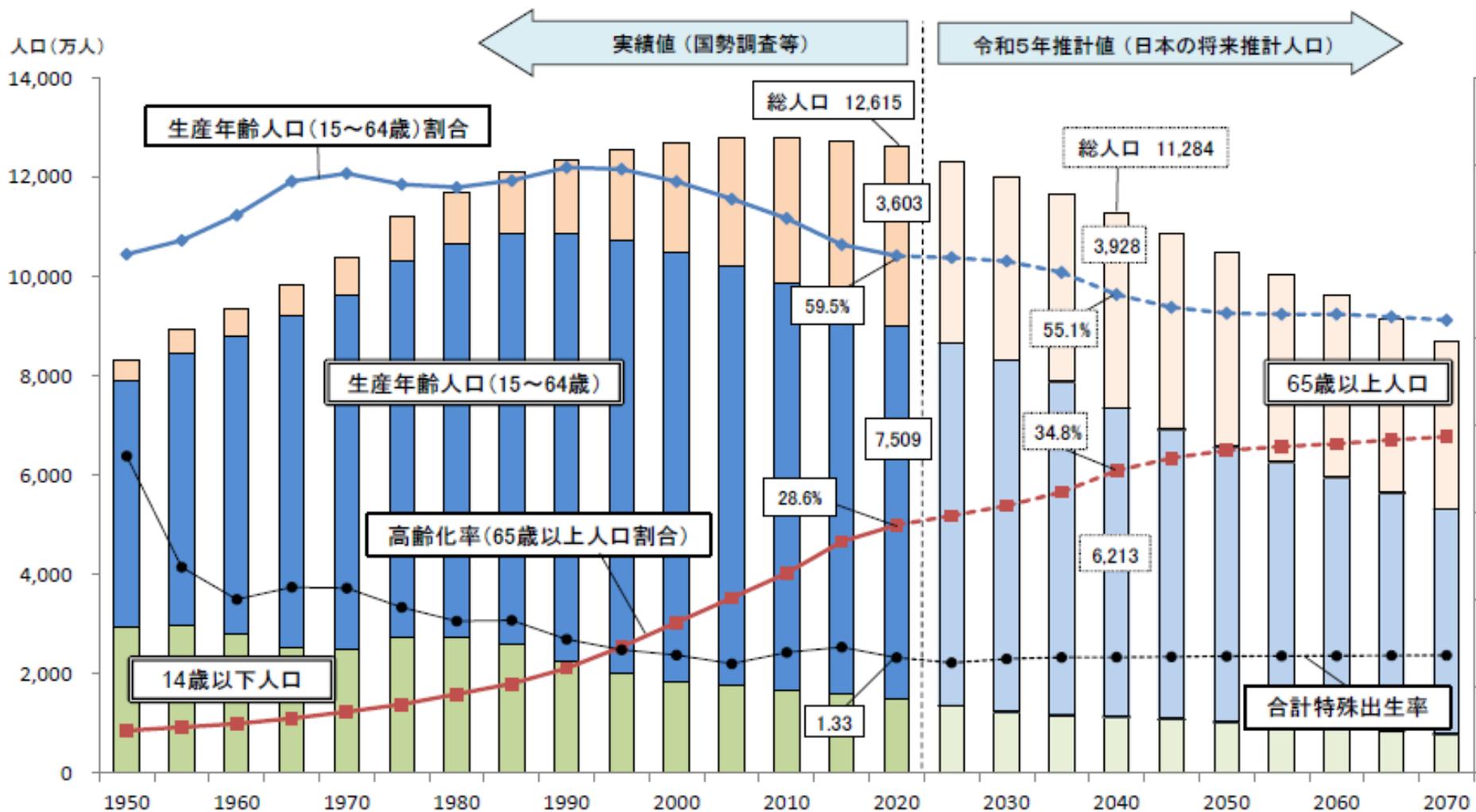
- 2 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について
- 3 三重県の看護職員の従事状況
- 4 看護職員の離職状況
- 5 ナースバンク事業による求人・求職状況

# 人口動態① 現役世代（担い手）の急減と高齢化が進む

2040年に向けて、現役世代（担い手）が急減するとともに、高齢化が進行する。

・生産年齢人口（15歳～64歳） 2020年：7,509万人 ⇒ 2040年：6,213万人

・高齢化率 2020年：28.6% ⇒ 2040年：34.8%



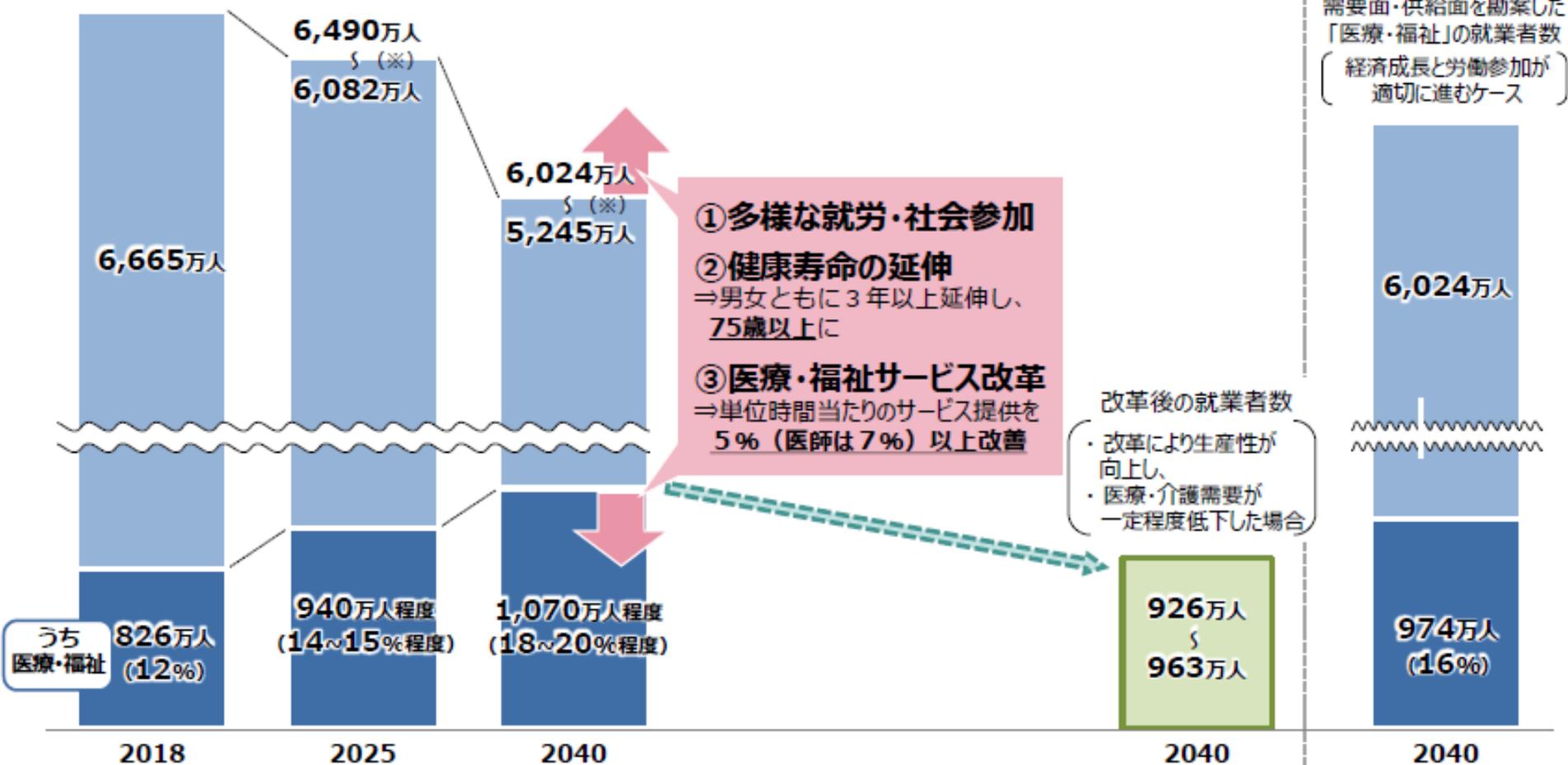
(資料出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

# マンパワー① 2025年以降、人材確保がますます課題となる

令和4年3月4日 第7回第8次医療計画等に関する検討会 資料1

○2040年には就業者数が大きく減少する中で、医療・福祉職種の人材は現在より多く必要となる。

需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移



※総就業者数は独立行政法人労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計」(2019年3月)による。

総就業者数のうち、下の数値は経済成長と労働参加が進まないケース、上の数値は進むケースを記載。

※2018年度の医療・福祉の就業者数は推計値である。

- 1 医療提供体制を取り巻く状況
- 2 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について
- 3 三重県の看護職員の従事状況
- 4 看護職員の離職状況
- 5 ナースバンク事業による求人・求職状況

# 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改定について

- 厚生労働大臣及び文部科学大臣は、看護師等の人材確保の促進に関する法律第3条に基づき、国民に良質かつ適切な医療の提供を図るために、看護師等（保健師、助産師、看護師及び准看護師）の確保を促進するための措置に関する基本的な指針を策定することとされている。
- 1992年12月の本指針の制定から現在までの間、①2001年の保健師助産師看護師法の改正に伴い「看護婦」から「看護師」と改正されるなど、看護師等を巡る状況は大きく変化したこと、②今後、少子高齢化の進行に伴って、現役世代（担い手）が急減する中で、看護ニーズの増大が見込まれており、看護師等の確保の推進が重要であること、③コロナ禍を受けて、新興感染症等の発生に備えた看護師等確保対策を実施する必要があること等から、2023年10月に本指針の改定を行った。
- 改定の概要は以下のとおり。 ※今回の改定以降も、医療提供体制の見直しに係る状況等を踏まえて、必要に応じて本指針の見直しを行う。

## ① 看護師等の就業の動向

- ・看護師等の就業者数は増加（1990年 83.4万人 → 2020年 173.4万人）
- ・2025年需要推計によると、2020年の就業看護師等数よりも増大が必要
- ・需給の状況は地域別・領域別に差異があり、地域・領域ごとの課題に応じた確保対策が重要
- ・2040年に向け生産年齢人口が減少していく中で看護師等の確保の推進が必要
- ・2040年頃を視野に入れた新たな看護師等の需給推計は、今後の医療計画の作成等に活用できるようにすることが重要

## ② 看護師等の養成

- ・看護師等の教育の課程は、保健師、助産師、看護師（三年課程、二年課程）及び准看護師の各課程からなり、全日制・定時制など多様な形態で構成される
- ・地域医療介護総合確保基金による看護師等養成所の整備・運営の支援が重要
- ・看護関係資格の取得を目指す社会人経験者の教育訓練の受講支援が重要
- ・療養の場が多様化し地域包括ケアが推進される中で、訪問看護ステーション等での需要増加に対応するため、多様な場での実習の充実を更に図っていくことが重要
- ・今後は看護学生の減少が予想されるため、資質の高い看護教員の確保や看護師等を安定的に養成する取組など、地域の看護師等学校養成所間での議論が望まれる

## ③ 病院等に勤務する看護師等の処遇の改善

- ・看護師等の就業継続を支援していくため夜勤等の業務負担の軽減や病院等のICT化の積極的な推進による業務の効率化を図っていくことが重要
- ・労使において業務内容、業務状況等を考慮した給与水準となるよう努める
- ・仕事と育児の両立支援に向けた環境整備の推進や地域医療介護総合確保基金による支援も活用した勤務環境改善のための体制整備を進めるよう努める
- ・職場におけるハラスメント対策を適切に実施していくことが必要
- ・チーム医療推進のため、タスク・シフト/シェアを進めていくことが重要

## ⑦ その他看護師等の確保の促進に関する重要事項

- ・看護師等の確保を進める上で、医療関係者をはじめ広く国民一人一人が「看護」の重要性や魅力について理解と関心を深めることが必要
- ・看護補助者が実施可能な業務については、看護補助者が担っていく環境を整備することや看護補助者の社会的な認知の向上に努めることが重要

## ④ 研修等による看護師等の資質の向上

- ・看護師等はライフイベントによるキャリア中断が多いため、新人世代から高齢世代までを通じたキャリアの継続支援が重要
- ・すべての新人看護師等が基本的な臨床実践能力を獲得することが重要
- ・個々の看護師等が置かれた状況等により、例えば、特定行為研修の受講など、就業場所、専門領域、役職等に応じた知識・技術・能力の向上が求められる
- ・看護師等の指導を行う看護管理者の役割が重要であり、看護管理者には自らの病院等のみならず地域の様々な病院等と緊密に連携する能力が求められる

## ⑤ 看護師等の就業の促進

- ・新規養成・復職支援・定着促進を三本柱とした取組の推進が重要
- ・都道府県ナースセンターにおける職業紹介等の充実や公共職業安定所と都道府県ナースセンターとの緊密な連携を通じたマッチングの強化が重要
- ・「デジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システム」により、看護師等のスキルアップの推進を図ることが重要
- ・都道府県・二次医療圏ごとの地域の課題に応じた看護師等の確保や領域別の今後の看護師等の需給を踏まえ、訪問看護における看護師等の確保が重要
- ・人生100年時代において生涯にわたる看護師等の就業推進が必要

## ⑥ 新興感染症や災害等への対応に係る看護師等の確保

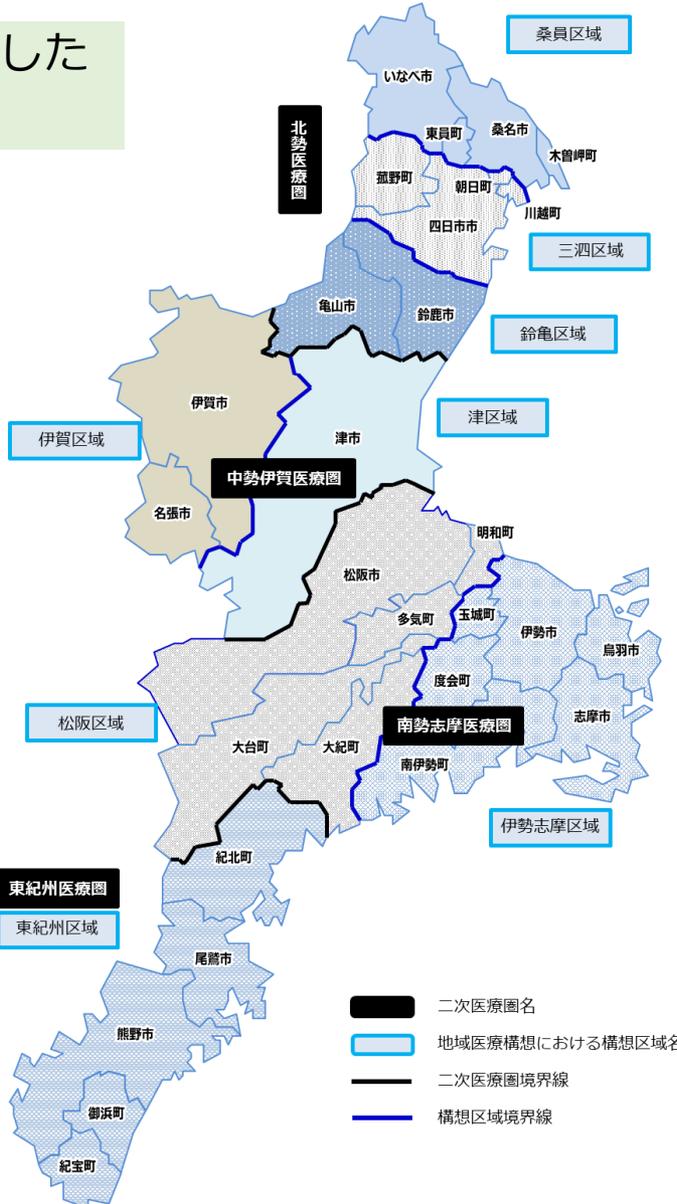
- ・新興感染症や災害が発生した場合において的確に対応できる看護師等の応援派遣が迅速に実施できるように、災害支援ナースの養成及び応援派遣を行う仕組みを構築することが必要
- ・国においては、災害支援ナースの養成及びリスト化を進めるとともに、全国レベルでの看護師等の応援派遣調整に係る体制を整備することが重要
- ・都道府県においては、災害支援ナースの応援派遣に係る医療機関等との間の協定の締結を着実に進めることが重要

- 1 医療提供体制を取り巻く状況
- 2 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について
- 3 三重県の看護職員の従事状況**
- 4 看護職員の離職状況
- 5 ナースバンク事業による求人・求職状況

# 三重県の二次医療圏・構想区域

三重県の地域医療構想では、二次医療圏をベースとした8つの構想区域を想定している。

二次医療圏	構想区域	構成市町
北勢	桑員	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町
	三泗	四日市市、菰野町、朝日町、川越町
	鈴亀	鈴鹿市、亀山市
中勢伊賀	津	津市
	伊賀	名張市、伊賀市
南勢志摩	松阪	松阪市、多気町、明和町、大台町、大紀町
	伊勢志摩	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
東紀州	東紀州	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町



# (1) 看護職員従事者数

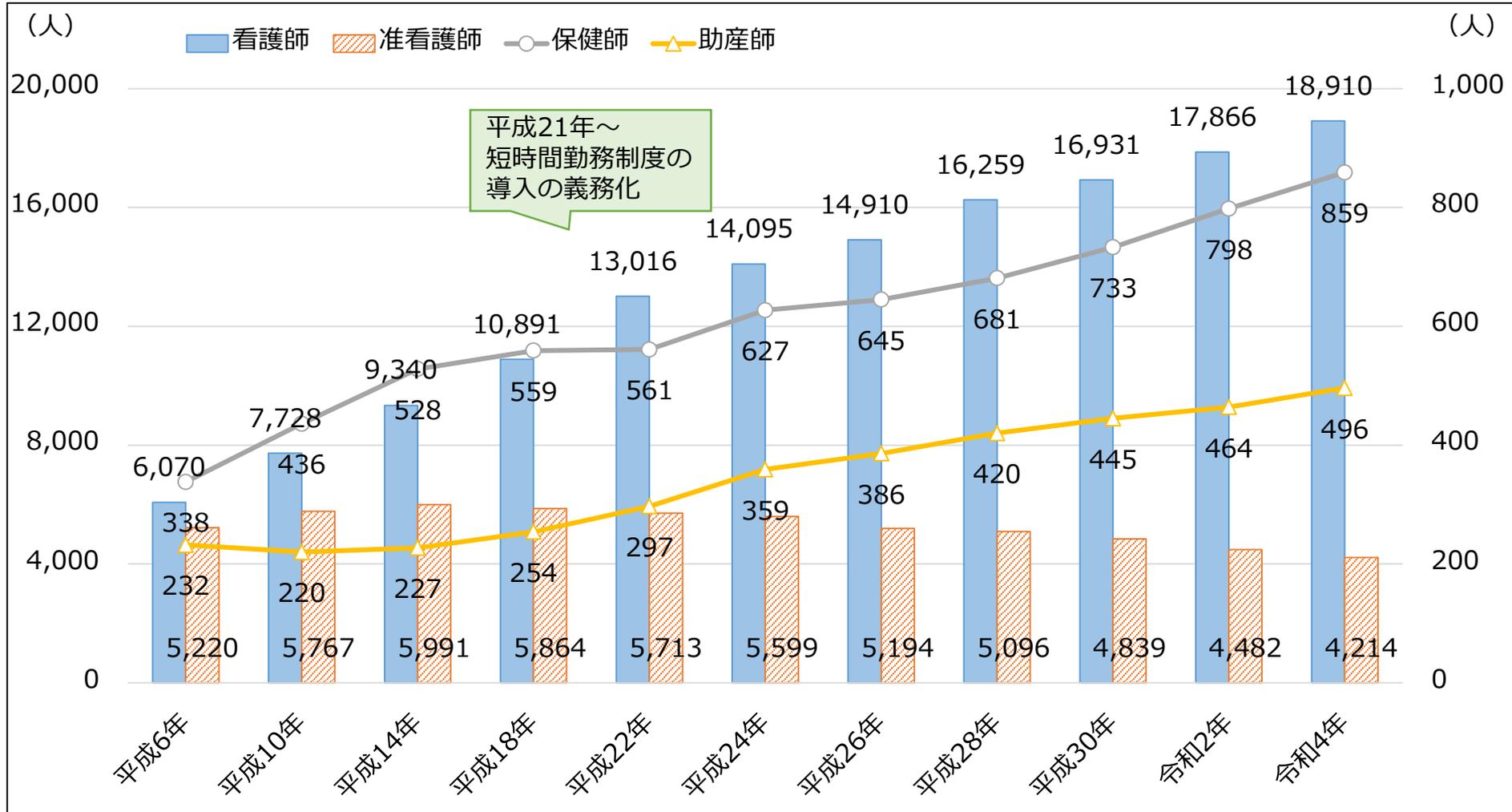
令和4年末における人口10万人あたりの看護師、保健師、准看護師数は全国平均を上回っている。助産師数は全国平均を下回っているが、令和2年末に比べ全国順位は改善した。

(単位：人)	令和4年			令和2年		
	三重県		全国	三重県		全国
	就業者数	人口 10万対	人口 10万対	就業者数	人口 10万対	人口 10万対
看護師 (全国順位)	18,910	1,085.5 (32位)	1,049.8	17,866	1,009.2 (35位)	1,015.4
保健師 (全国順位)	859	49.3 (38位)	48.3	798	45.1 (38位)	44.1
助産師 (全国順位)	496	28.5 (39位)	30.5	464	26.2 (41位)	30.1
准看護師 (全国順位)	4,214	241.9 (26位)	203.5	4,482	253.2 (26位)	225.6

※ ( ) 内は全国順位を示す

## (2) 看護職員従事者数(実人員)の推移

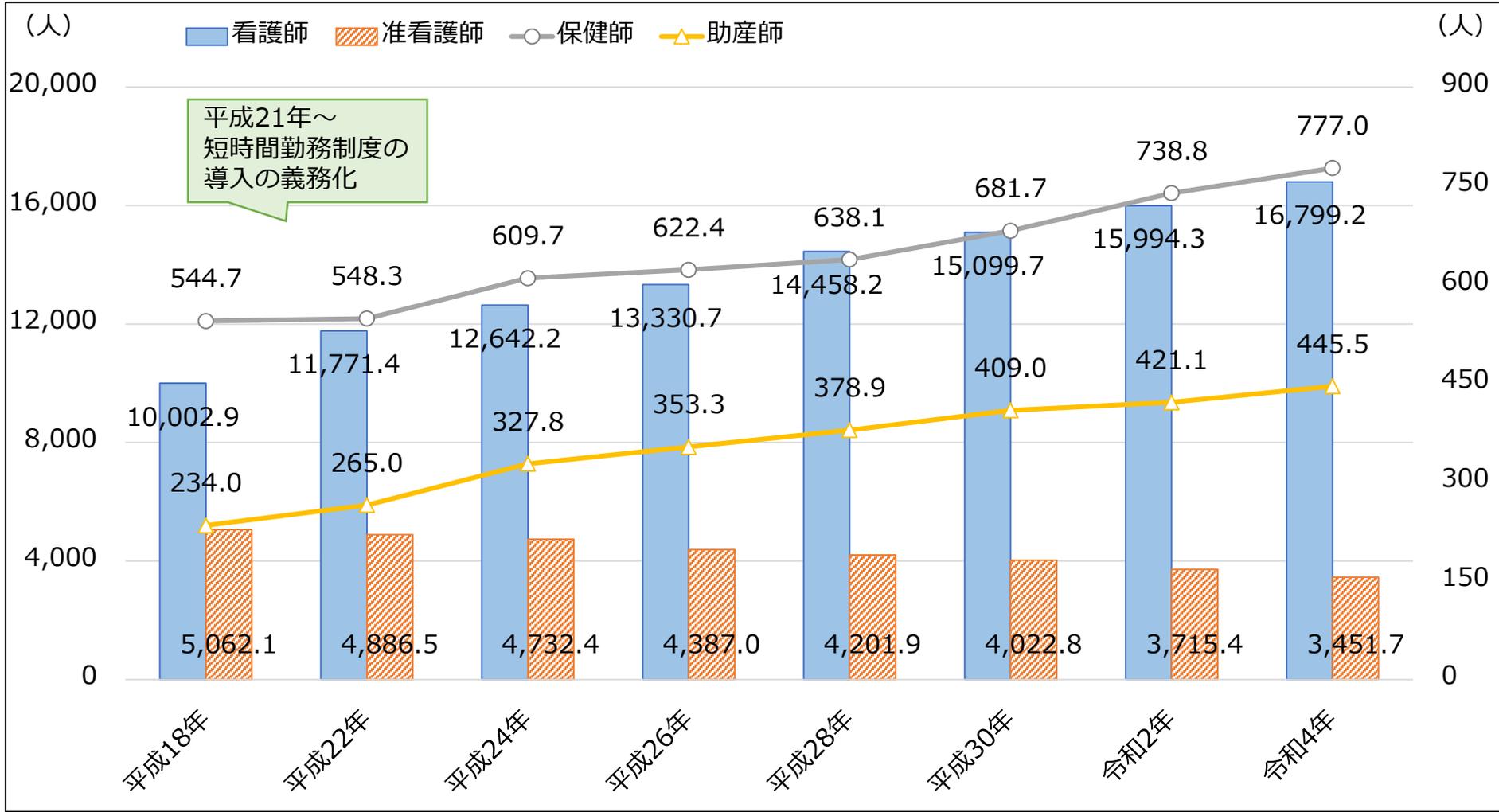
看護師・保健師・助産師数(実人員)は増加し、准看護師数(実人員)は減少している。



出典：厚生労働省「平成6年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (3) 看護職員従事者数(常勤換算)の推移

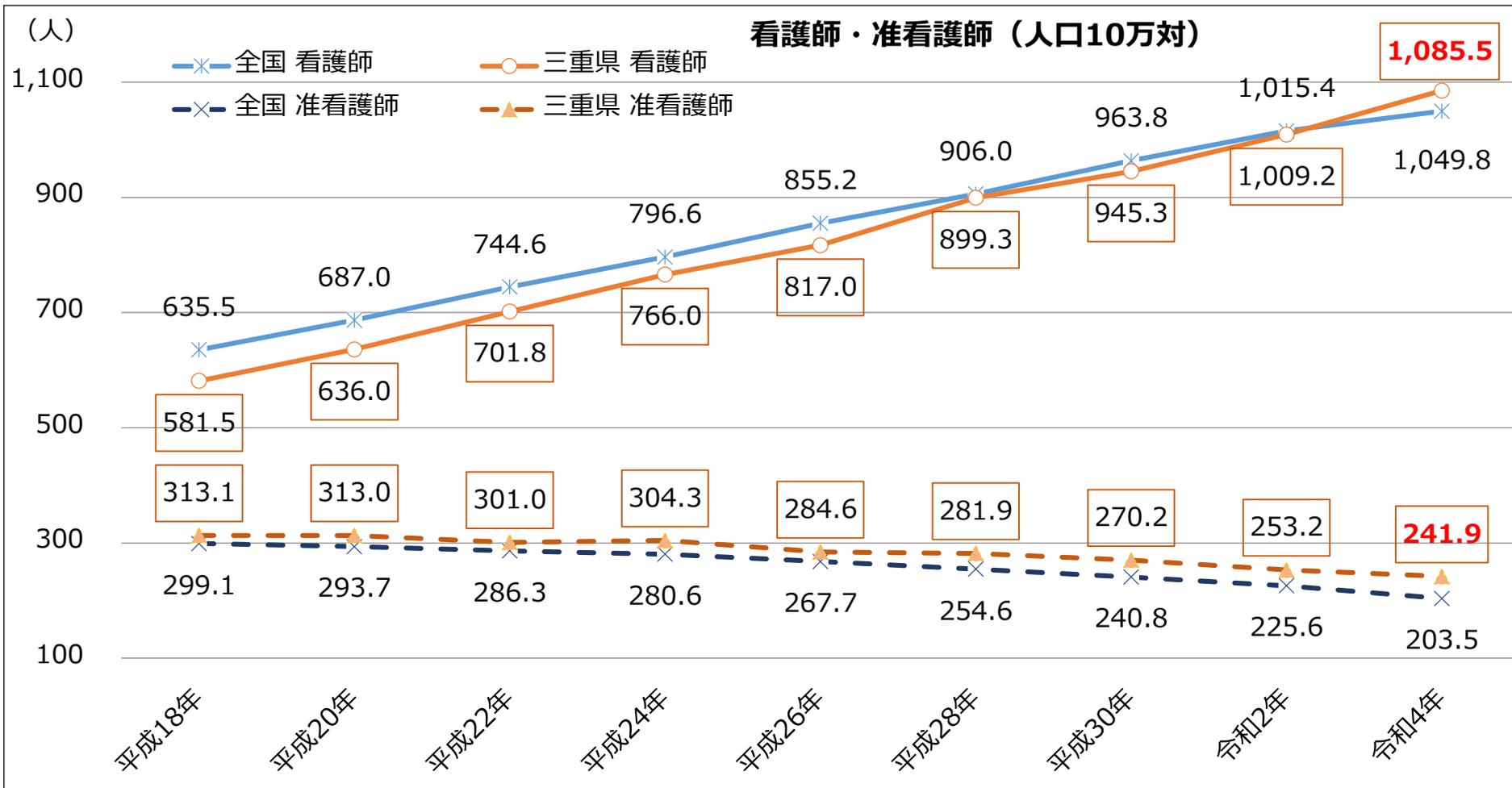
看護師・保健師・助産師数(常勤換算)は増加し、准看護師数(常勤換算)は減少している。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (4) 看護師・准看護師従事者数（人口10万対）の推移

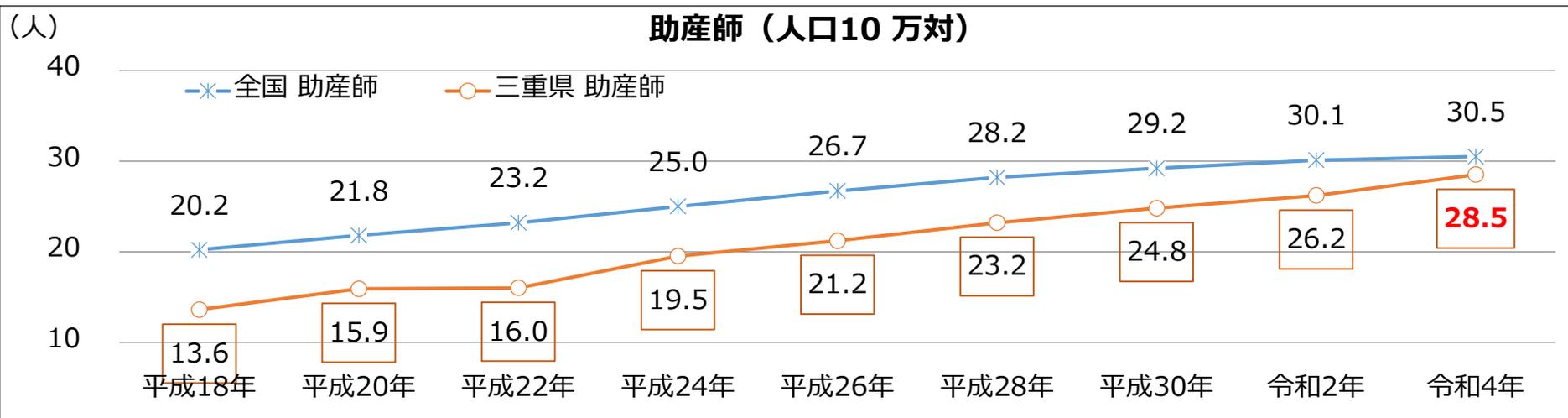
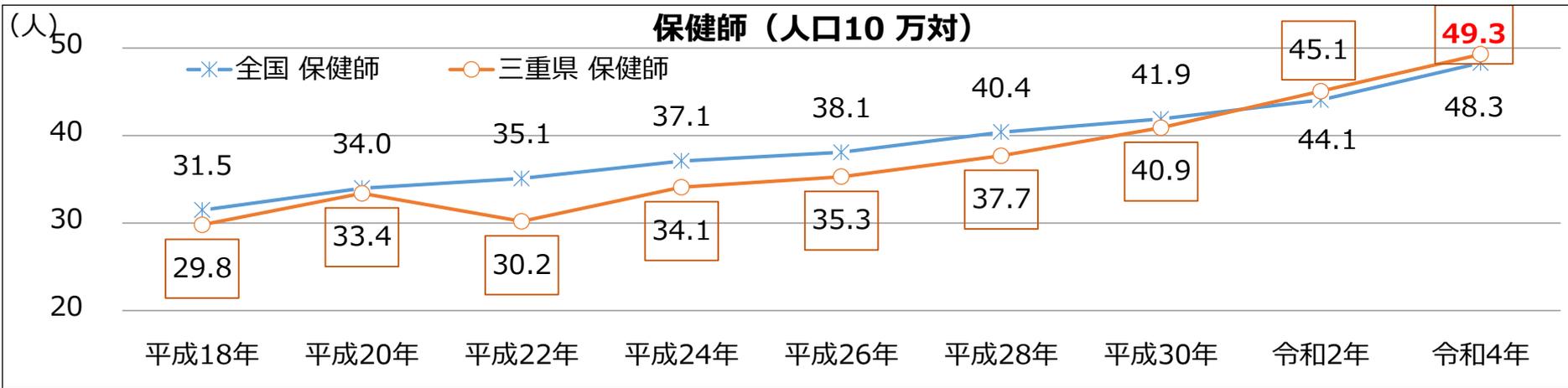
人口10万人あたりの看護師数は増加しており、令和4年には全国平均を上回った。  
人口10万人あたりの准看護師数は減少傾向にあるが、全国平均を上回って推移している。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (5) 保健師・助産師従事者数（人口10万対）の推移

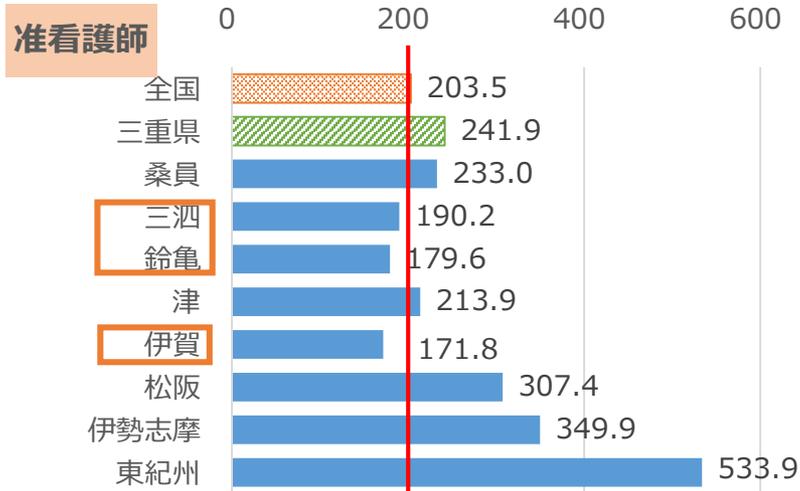
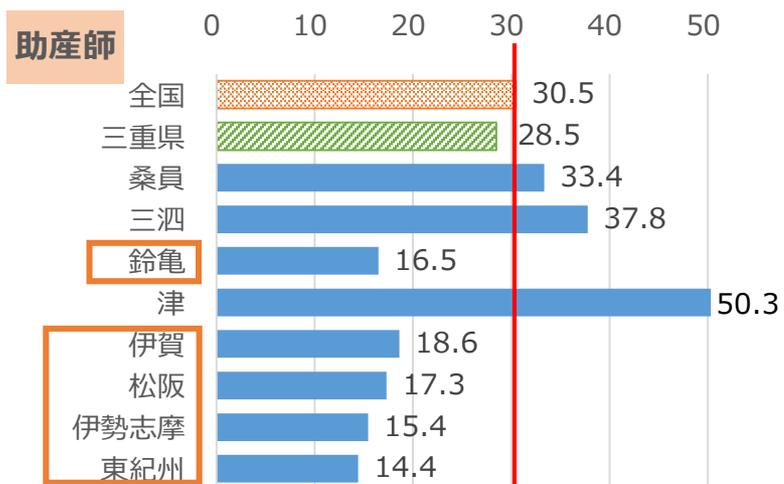
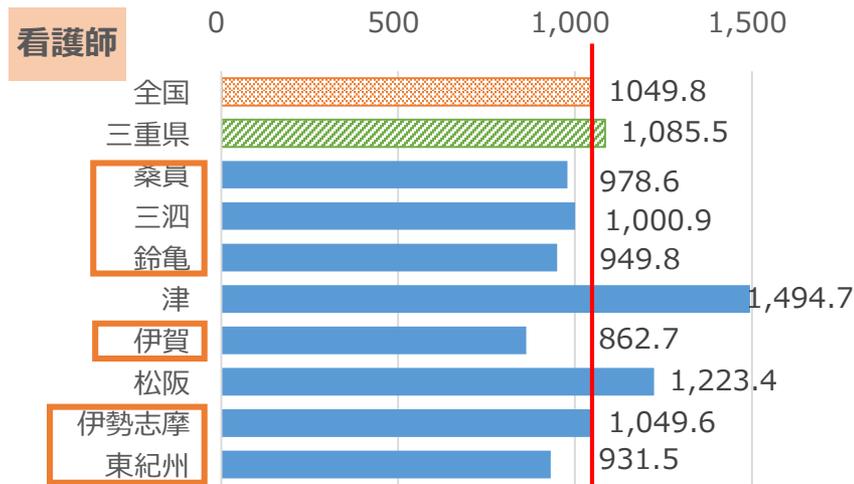
人口10万人あたりの保健師・助産師数は増加傾向にある。  
助産師数は全国平均を下回って推移しているが、全国値との差は縮まりつつある。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

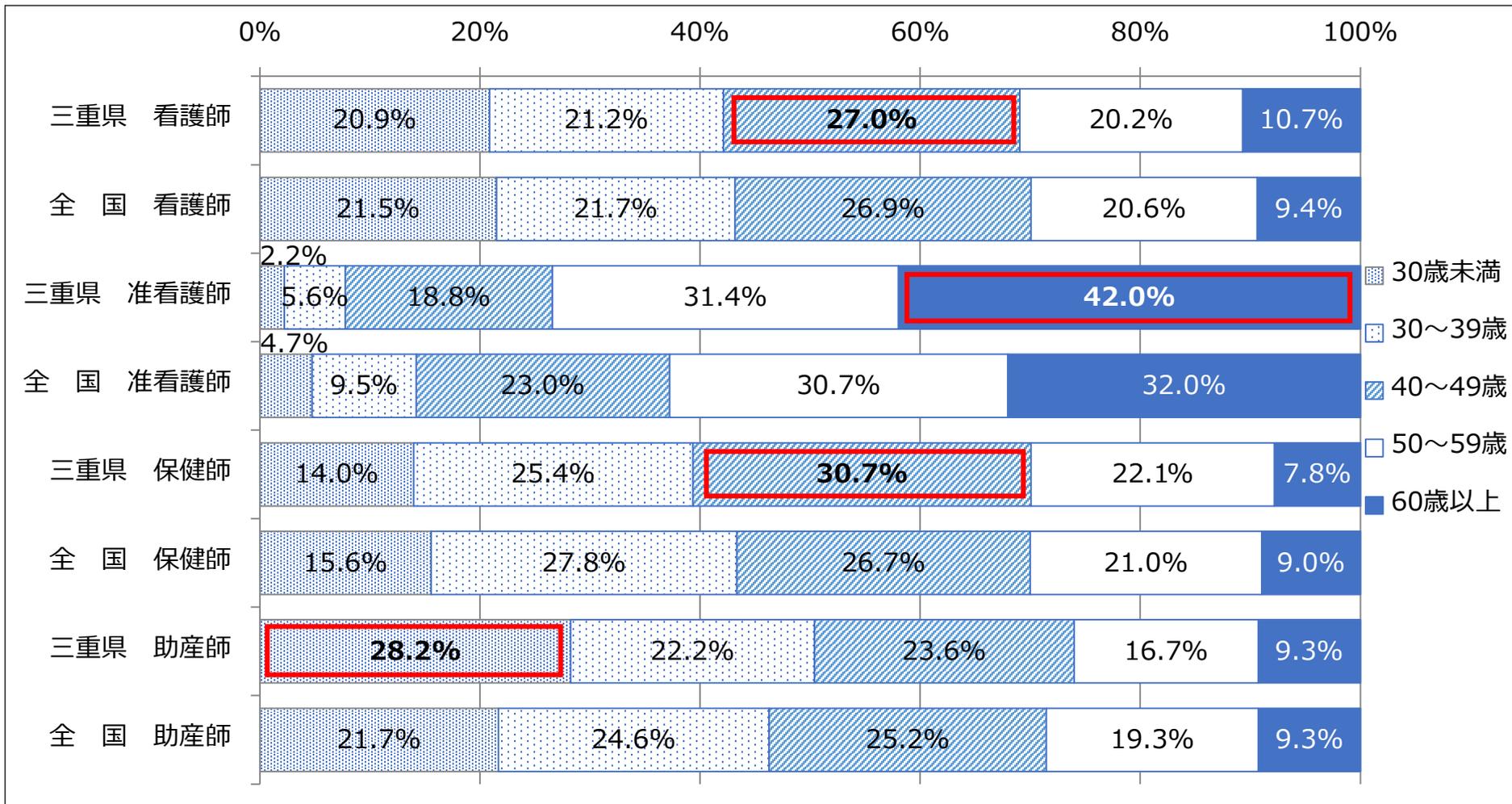
# (6) 地域別 (二次医療圏・構想区域別) 人口10万人あたりの看護職員従事者数

看護師数は、桑員、三泗、鈴亀、伊賀、伊勢志摩、東紀州区域が全国平均より少ない。  
助産師数は、鈴亀、伊賀、松阪、伊勢志摩、東紀州区域が全国平均より少ない。



# (7) 職種別・年齢階級別看護職員従事者数

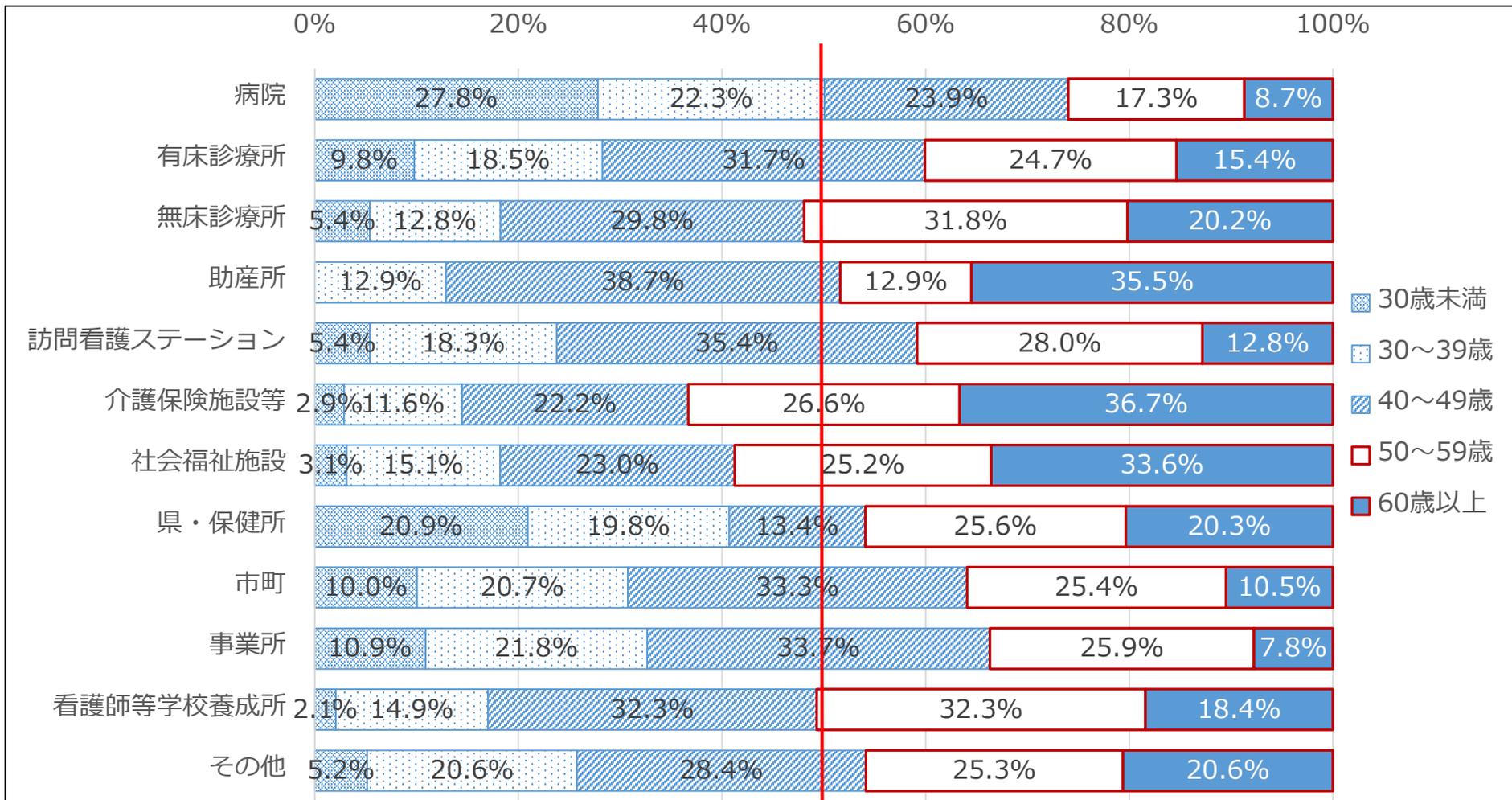
看護師・保健師は40歳代が、助産師は20歳代が最も多い。  
准看護師は60歳以上が最も多く、他職種と比較し年齢層が高い。



※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

# (8) 就業場所別・年齢別看護職員従事者割合

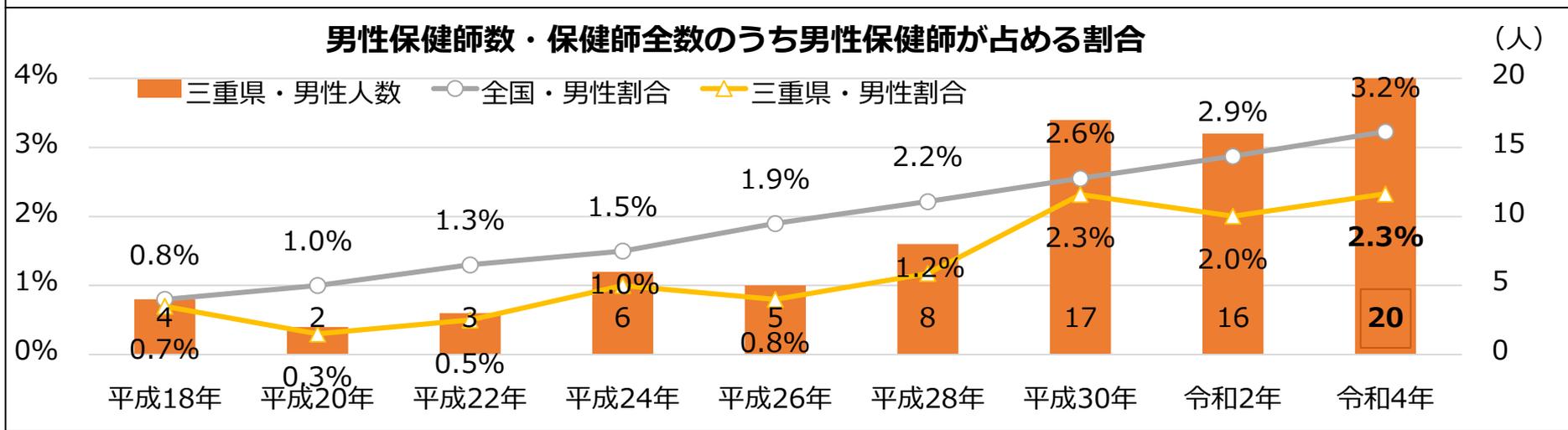
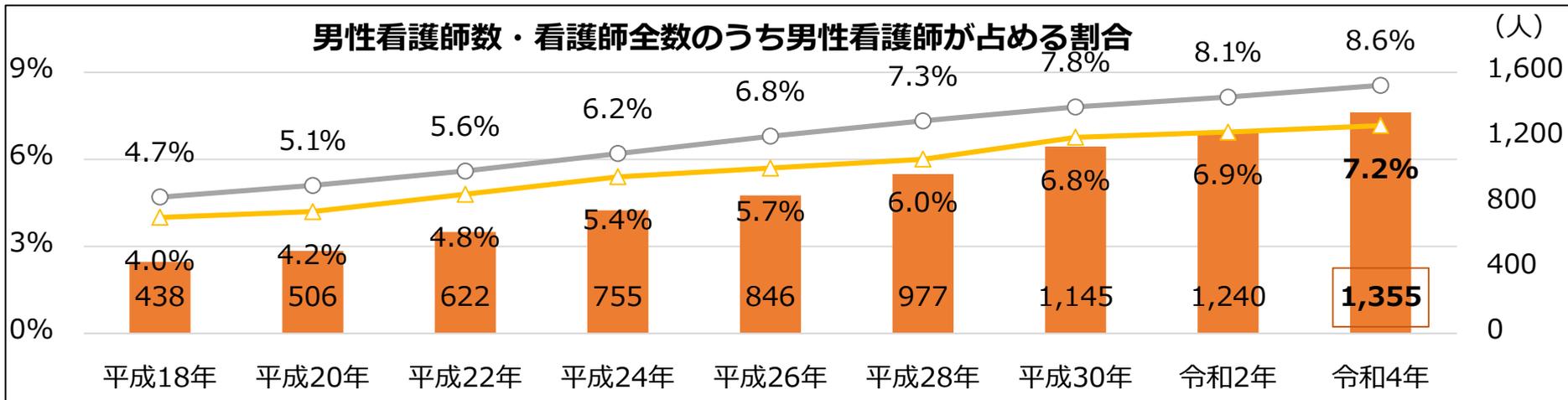
無床診療所、介護保険施設等、社会福祉施設、看護師等学校養成所に従事する看護職員のうち、半数以上が50歳以上となっている。



※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

# (9) 男性看護師・保健師数の推移

三重県における男性看護師・保健師数は増加傾向にあるが、男性が占める割合は、全国値と比べて低い値で推移している。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
 三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (10) 県内就業場所別看護職員数

令和4年末に病院の就業者数が減少に転じた。一方で、訪問看護ステーションの就業者数は平成24年末の2倍以上の増加となっており、また、コロナ禍で県・保健所・市町の就業者数が増加するなど、就業場所の多様化が進んでいる。

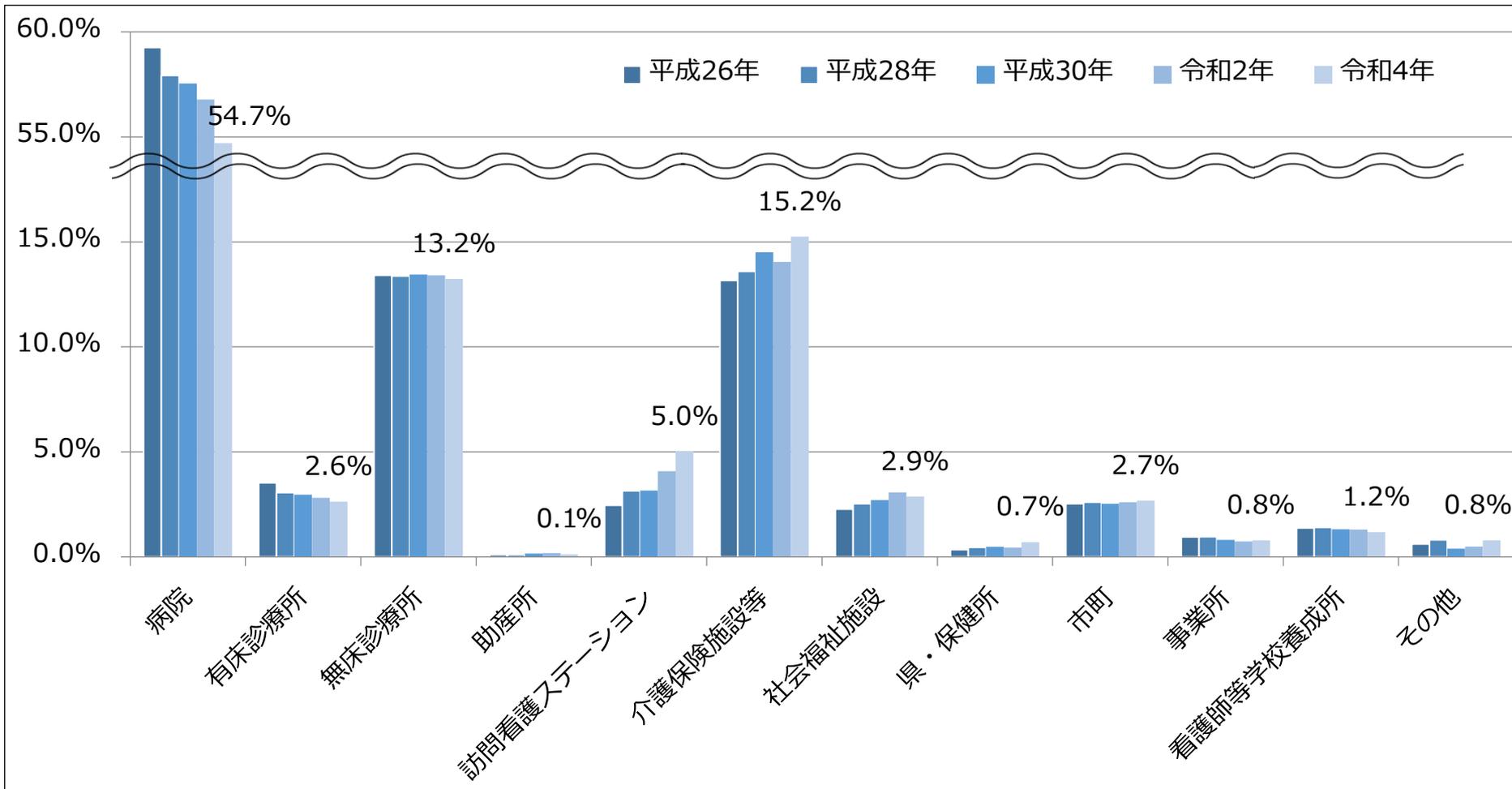
	病院	診療所		助産所	訪問看護ステーション	介護保険施設等	社会福祉施設	県・保健所	市町	事業所	看護師等学校養成所	その他	計(人)
		有床	無床										
平成24年	12,090	874	2,837	25	505	2,716	432	103	459	227	285	127	20,680
平成26年	12,524	745	2,833	26	519	2,781	481	72	534	200	290	130	21,135
平成28年	13,007	688	3,004	26	707	3,053	568	103	586	215	316	183	22,456
平成30年	13,204	679	3,087	37	724	3,327	621	111	580	185	302	91	22,948
令和2年	13,406	666	3,167	44	964	3,317	727	106	614	175	307	117	23,610
令和4年	13,390	644	3,242	31	1,232	3,733	703	172	657	193	288	194	24,479

※矢印は令和2年比

出典：厚生労働省「平成24年～26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」  
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (11) 就業場所別看護職員従事者割合

病院の就業者数が半数以上を占める（令和4年末：54.7%）が、その割合は減少傾向にある。また、訪問看護ステーションの就業者数の割合は年々増加している。

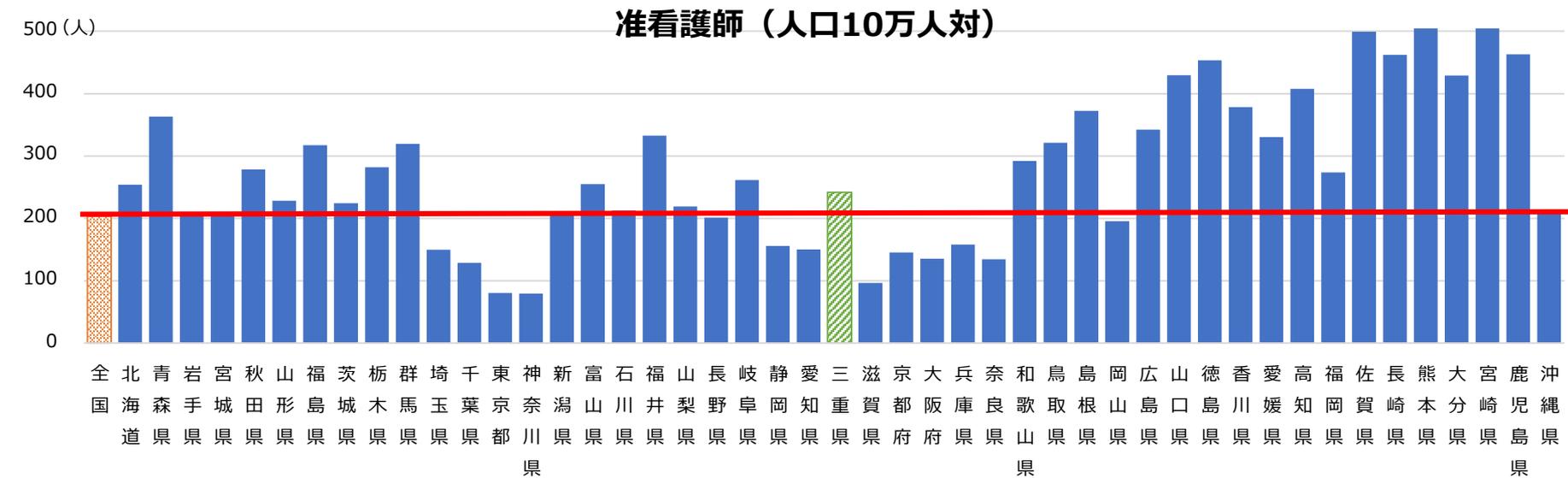
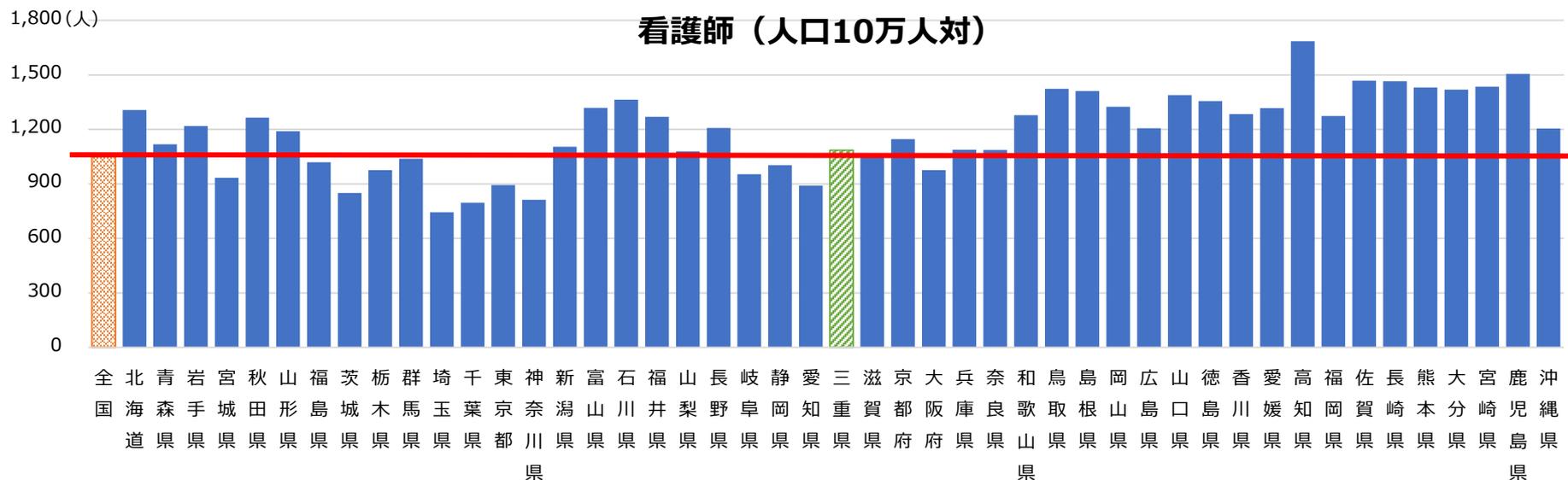


※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

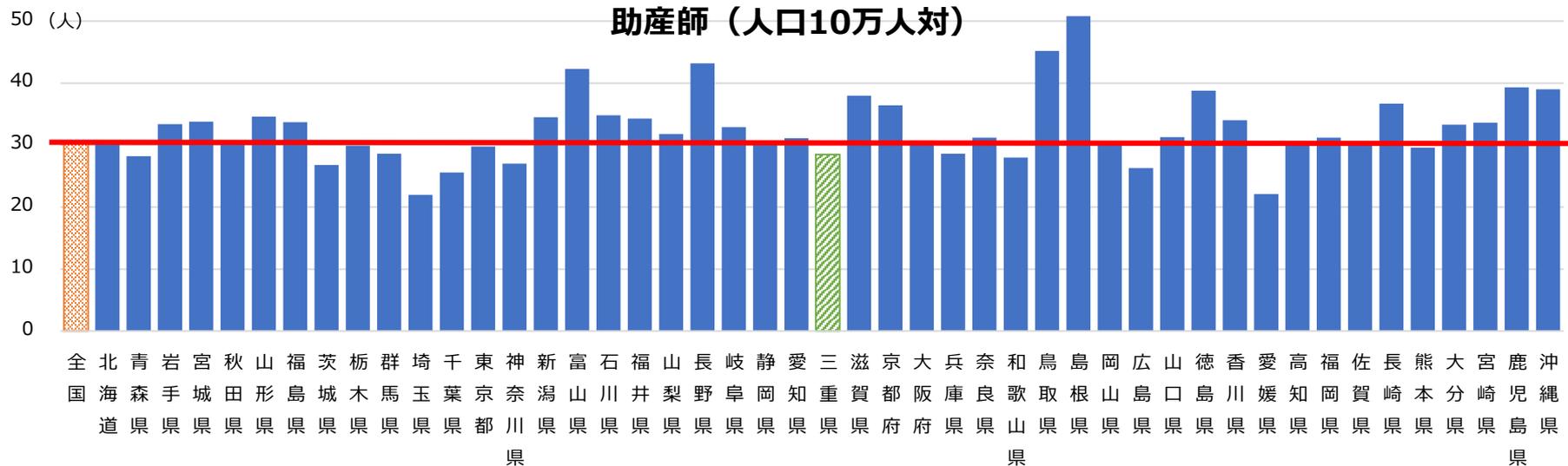
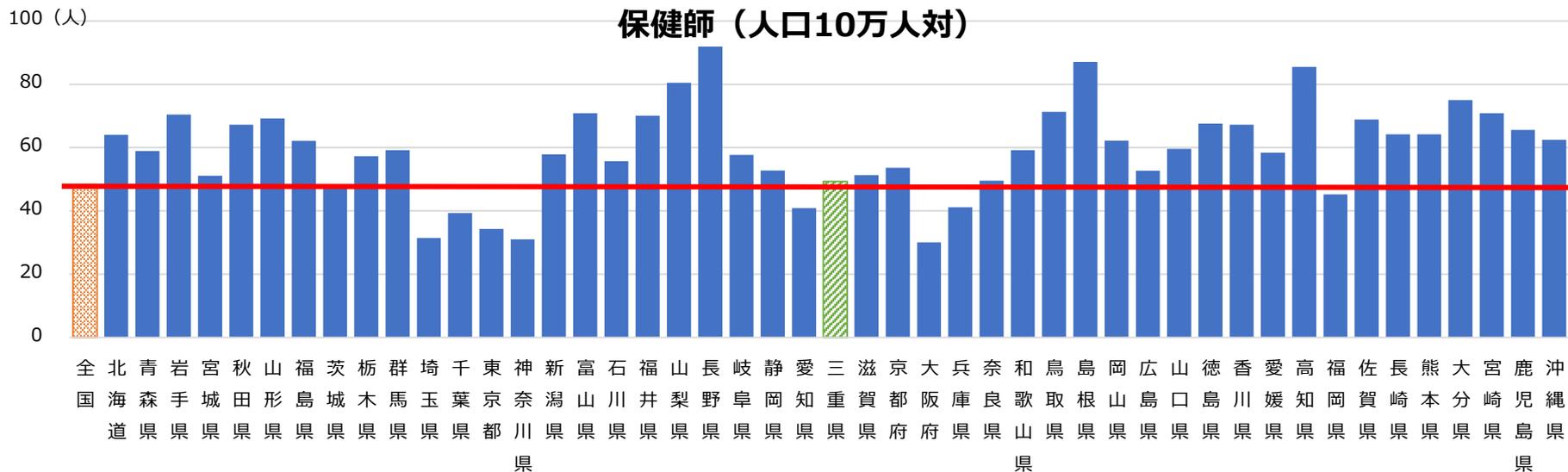
出典：厚生労働省「平成26年、平成30年～令和4年 衛生行政報告例」

三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

# (12) 都道府県別の看護師・准看護師従事者数（人口10万対）

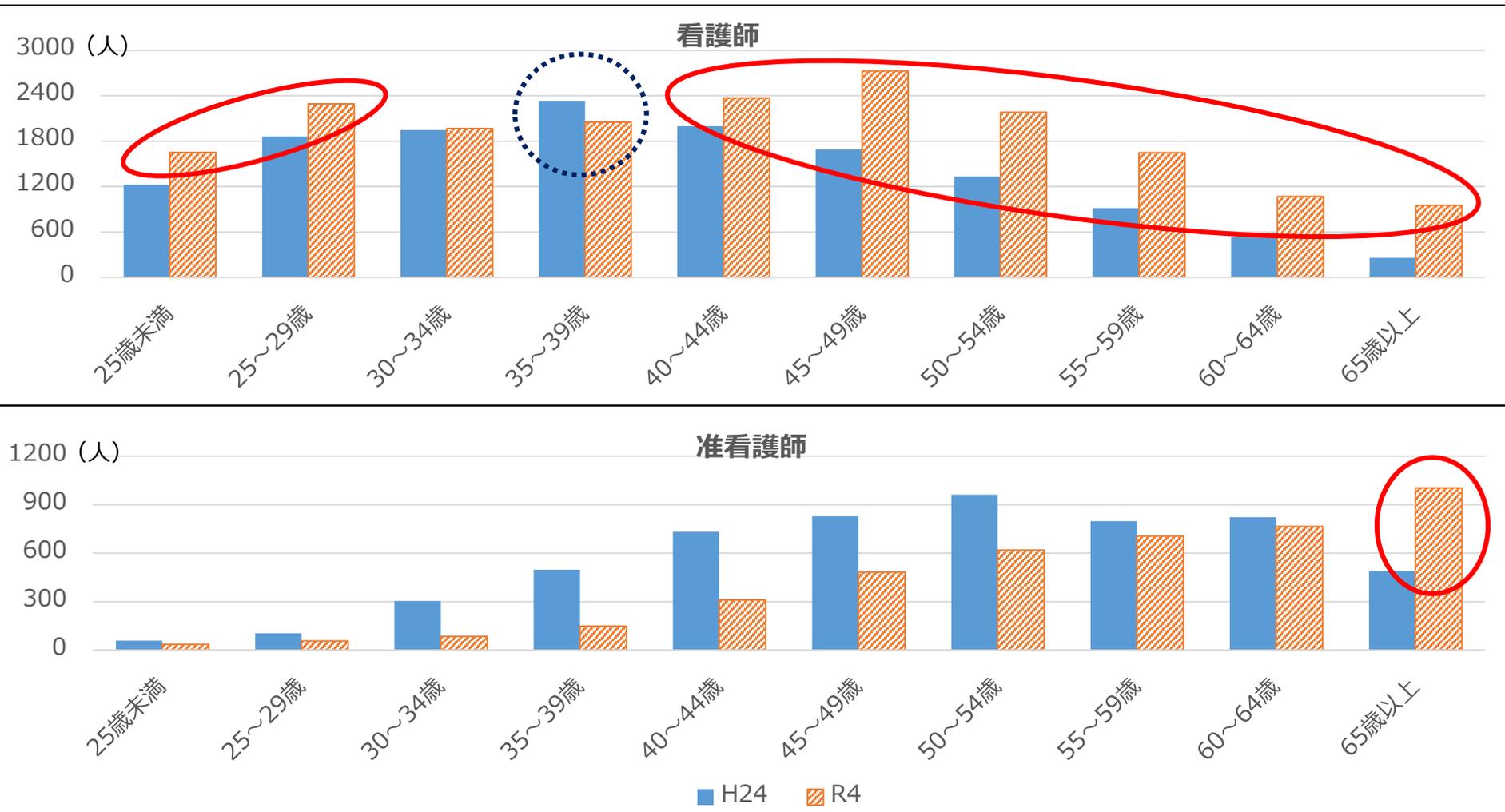


# (13) 都道府県別の保健師・助産師従事者数（人口10万対）



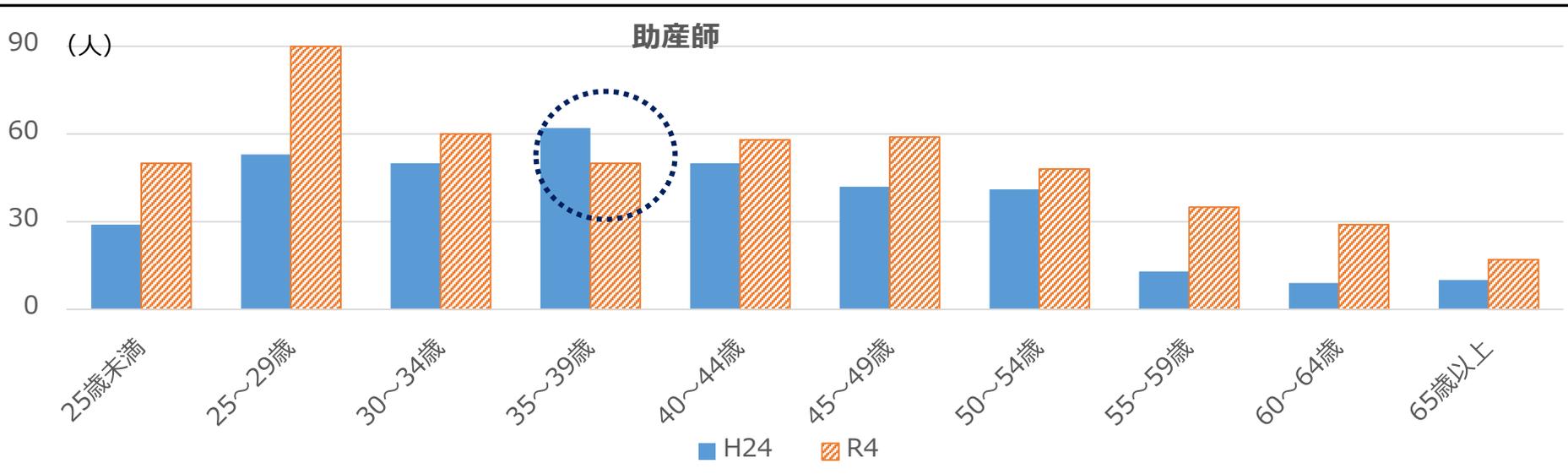
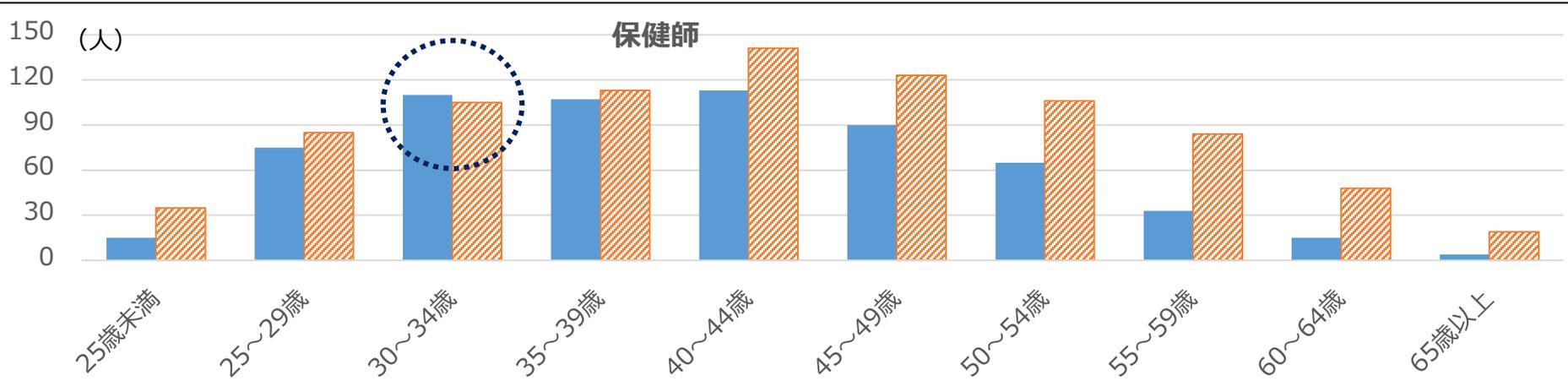
# (14) 年齢別看護師・准看護師数 (H24,R4比較)

看護師は、20歳代、40歳以上の就業者数が大幅に増加している。  
准看護師は、60歳以上の就業者数が増加している。



# (15) 年齢別保健師・助産師数 (H24,R4比較)

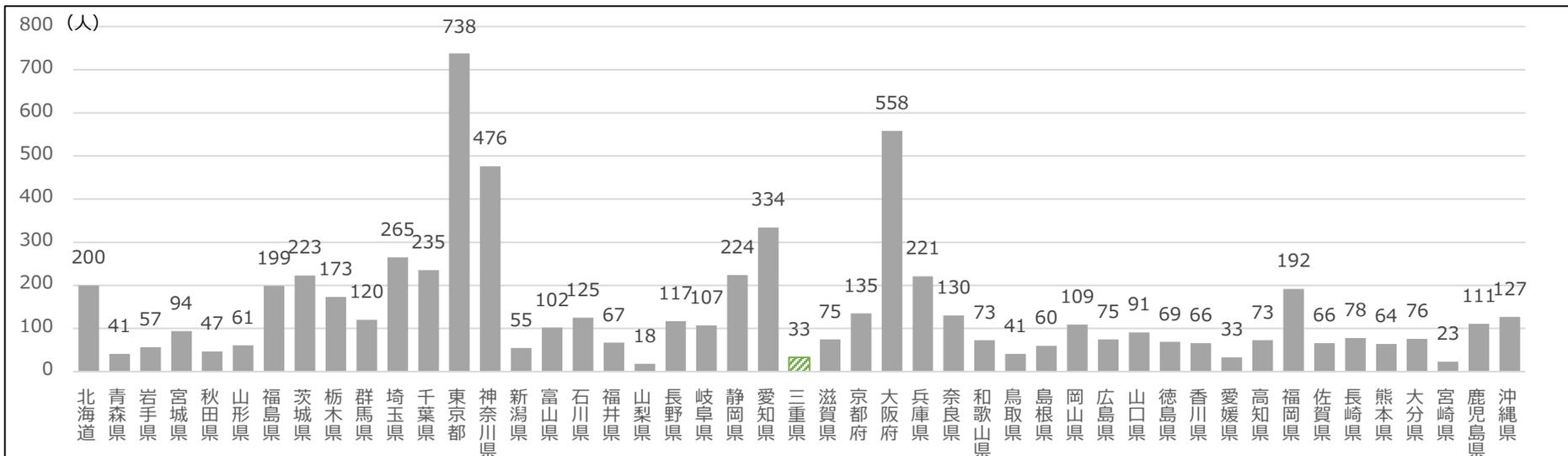
保健師は30～34歳以外、助産師は35～39歳以外の年齢層において就業者数が増加している。



## (16) 特定行為研修修了者数①

令和4年末において特定行為研修修了者の就業者数は33人。  
年齢階級別では40歳代、就業場所別では病院における就業者数が最も多い。

**修了者総数** 三重県 33人 / 全国 6,657人



## 年齢階級別(実人員)

30歳未満	0	(人)
30～39歳	11	
40～49歳	13	
50～59歳	7	
60歳以上	2	

## 就業場所別(実人員)

病院	28	(人)
診療所	2	
訪問看護ステーション	2	
介護保険施設等	1	

# (17) 特定行為研修修了者数②

修了区分・領域別パッケージでは「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が一番多く、次いで「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」「呼吸器（人工呼吸器療法に係るもの）関連」「循環動態に係る薬剤投与関連」が多い。

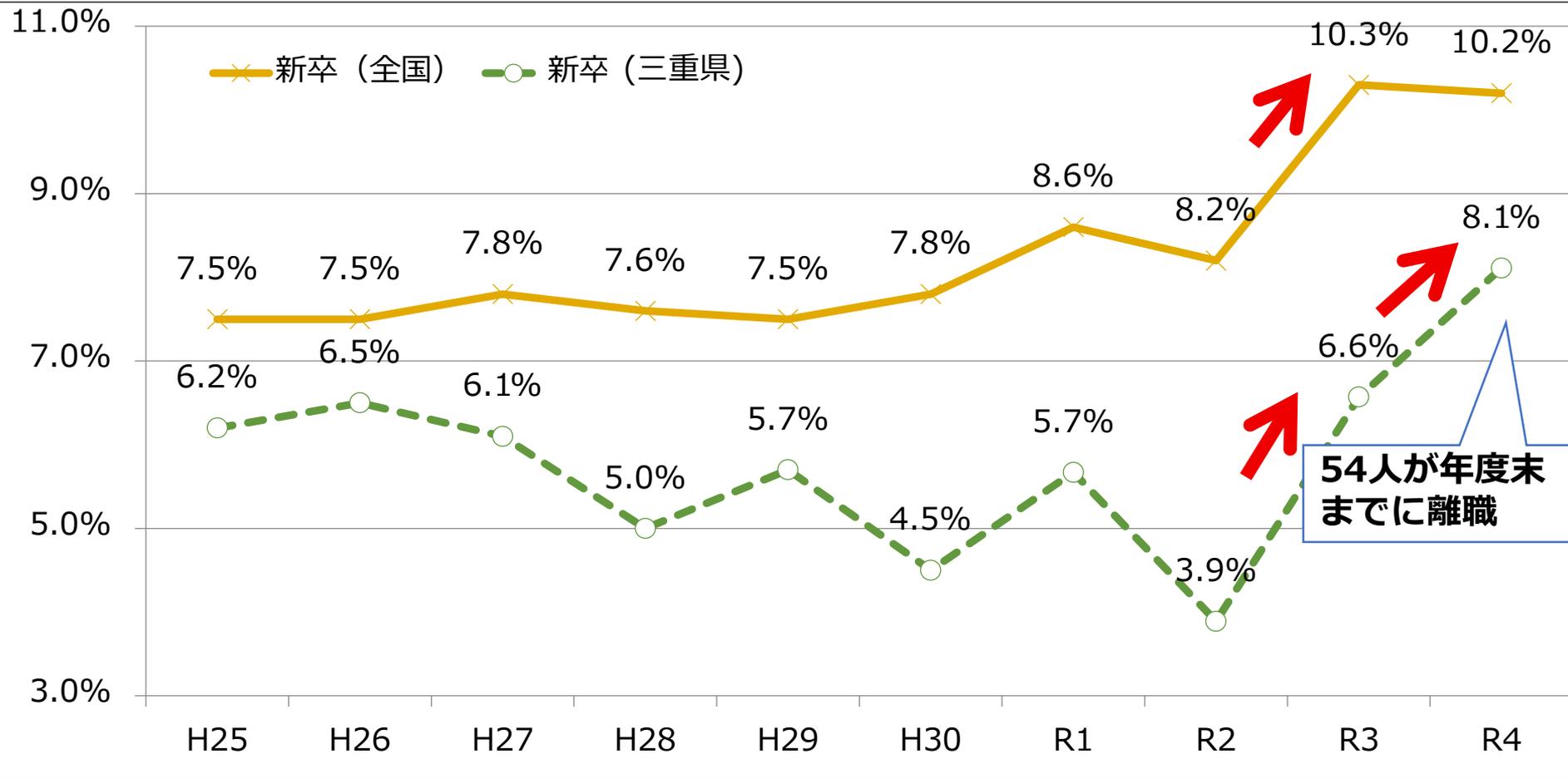
## 区分・領域別パッケージ



- 1 医療提供体制を取り巻く状況
- 2 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について
- 3 三重県の看護職員の従事状況
- 4 看護職員の離職状況**
- 5 ナースバンク事業による求人・求職状況

# (1) 新卒看護職員の離職状況

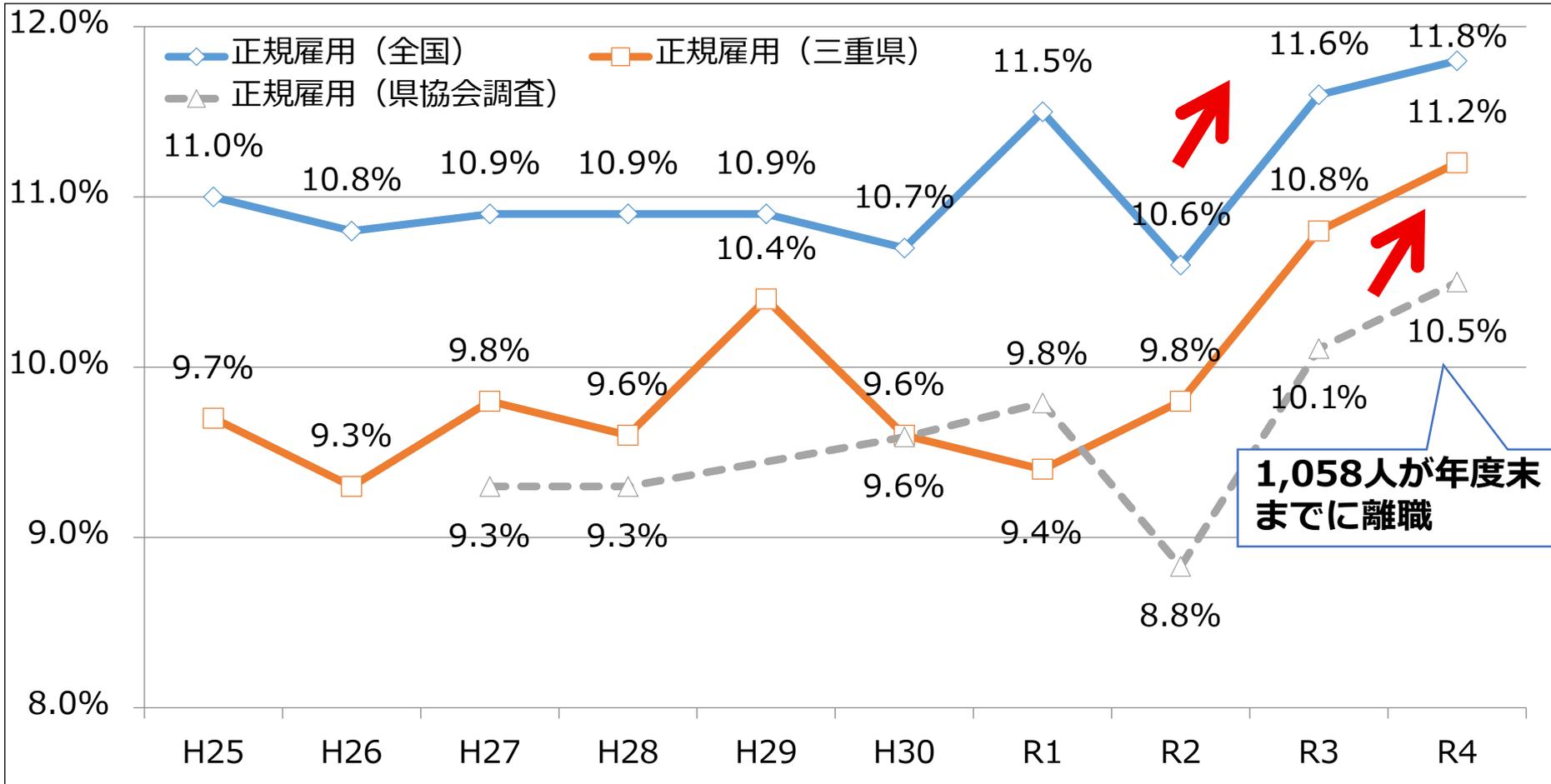
三重県の新卒看護職員の離職率は、全国と比較して低い値で推移しているが、令和3年度以降、増加傾向にある（令和4年度：全国高止まり）。



出典：日本看護協会「病院における看護職員需給状況調査」「病院看護・外来看護実態調査」「病院看護・助産実態調査」「病院看護実態調査」、※点線は三重県看護協会「医療機関等看護職員需要調査」「病院看護実態調査」

## (2) 正規雇用看護職員の離職状況①

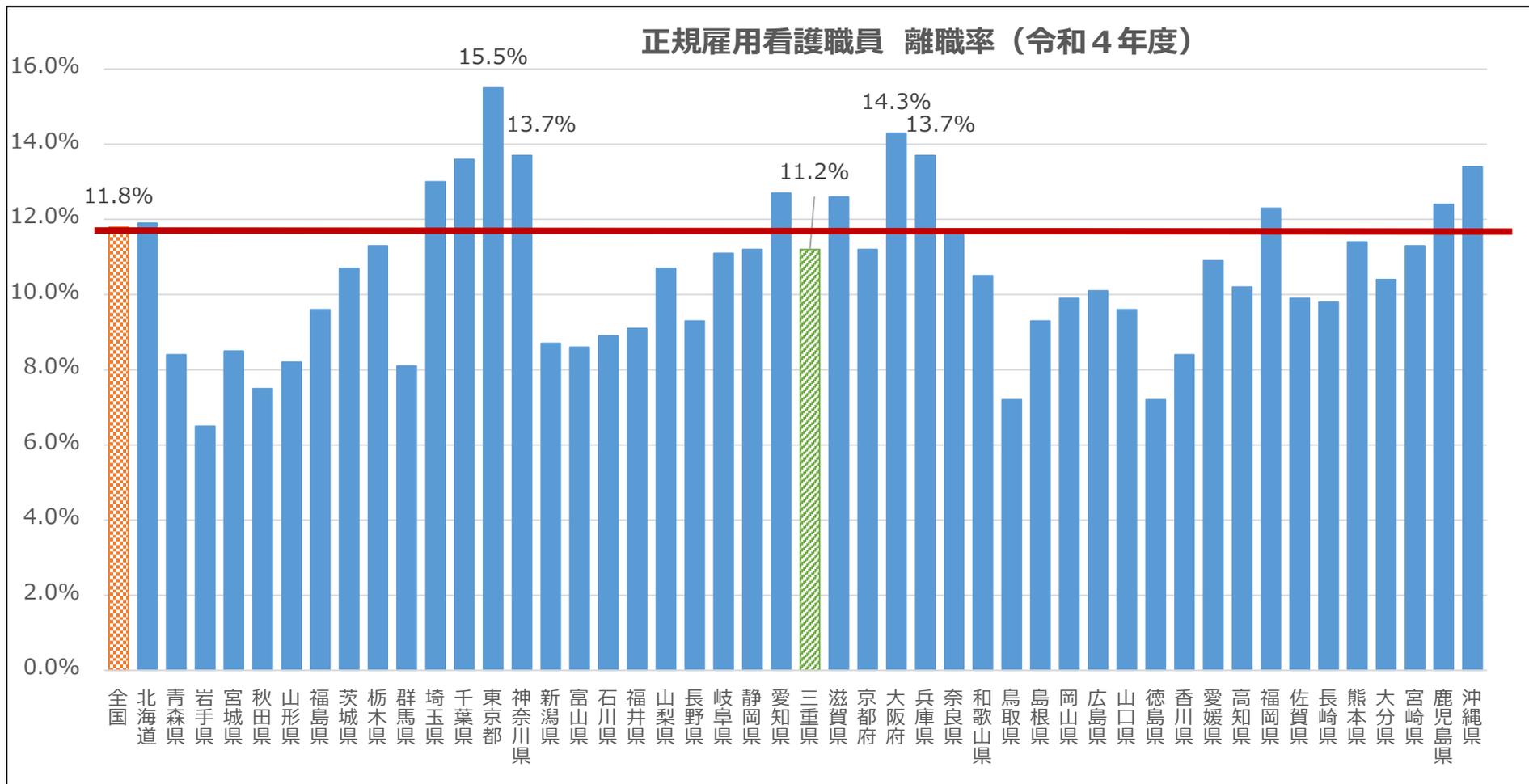
三重県の正規雇用看護職員の離職率は、全国と比較して低い値で推移しているが、令和3年度以降、全国・三重県ともに増加傾向にある。



出典：日本看護協会「病院における看護職員需給状況調査」「病院看護・外来看護実態調査」「病院看護・助産実態調査」「病院看護実態調査」、※点線は三重県看護協会「医療機関等看護職員需要調査」「病院看護実態調査」

### (3) 正規雇用看護職員の離職状況②

正規雇用看護職員の離職率が高い都道府県は、「東京都」(15.5%)、「大阪府」(14.3%)、次いで「神奈川県」と「兵庫県」がいずれも13.7%。



- 1 医療提供体制を取り巻く状況
- 2 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」について
- 3 三重県の看護職員の従事状況
- 4 看護職員の離職状況
- 5 ナースバンク事業による求人・求職状況

# (1) 求人・求職状況①

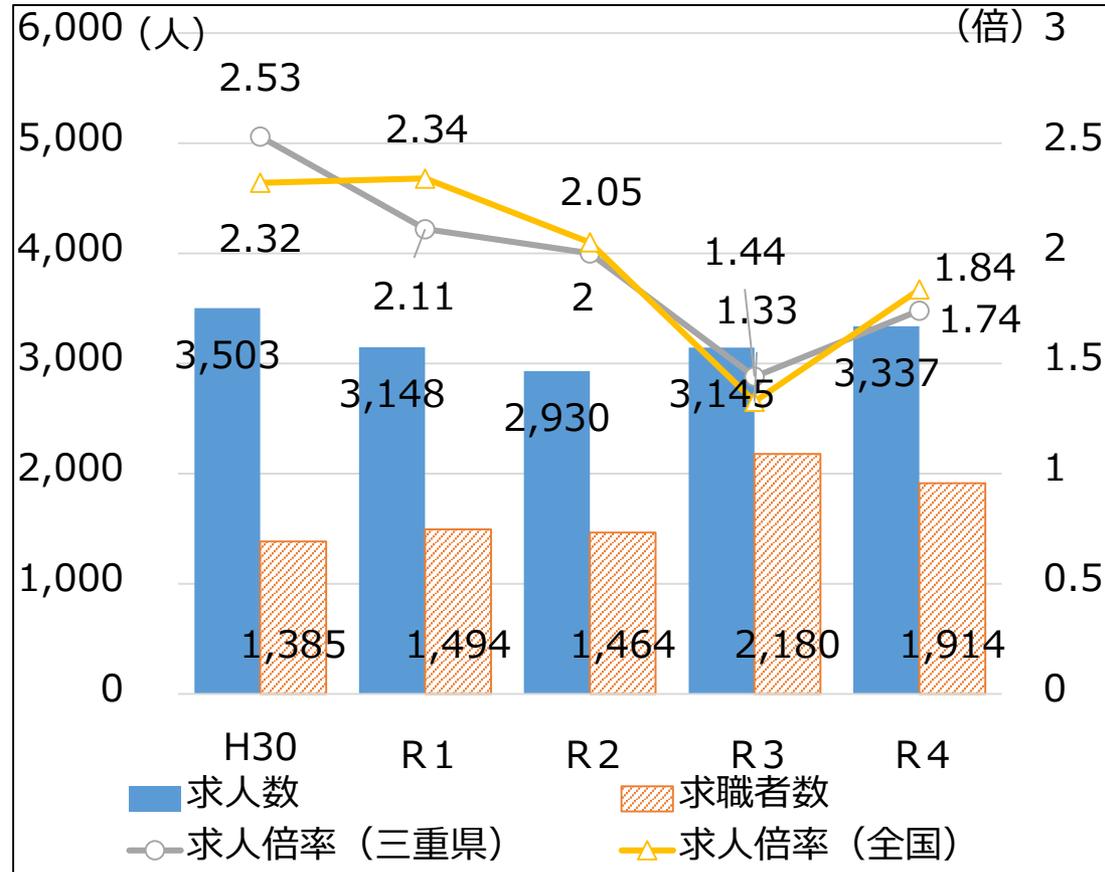
ナースバンク事業における求人相談件数、求職相談件数は、四日市や津に多い。  
また、求人倍率は、概ね全国水準と同様である。

## 令和5年度地域別 求人相談・求職相談件数（延べ）

	求人相談 (件)	求職相談 (件)
桑員	544	1,110
四日市	1,637	3,604
鈴鹿	556	1,367
津	1,942	3,026
伊賀	170	248
松阪	378	879
伊勢	259	607
志摩	51	140
尾鷲	38	43
熊野	7	17
県外	25	220
計	5,607	11,261
<b>就業者数（延べ人数）</b>		<b>430人</b>

## 求人数・求職者数・求人倍率の推移

※求人倍率 = 求職者数 1人あたりの求人数

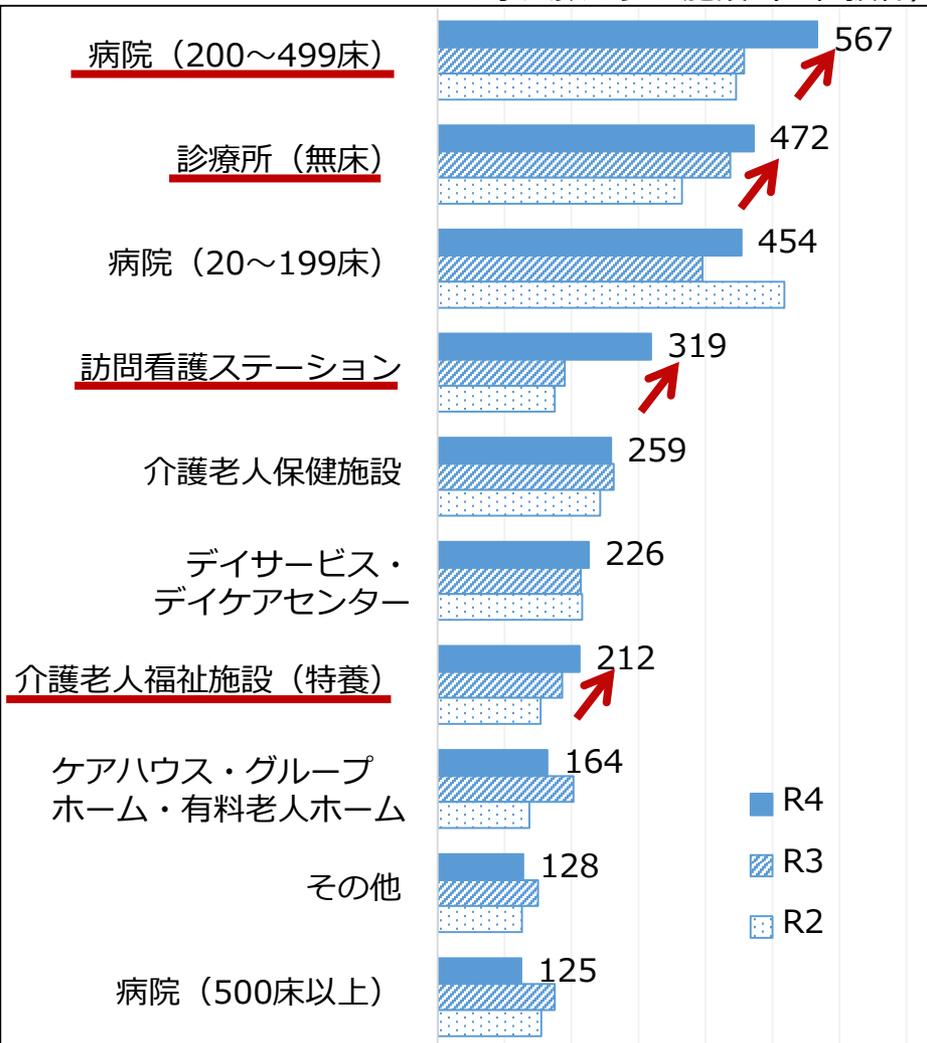


出典：三重県ナースセンター事業報告、中央ナースセンター「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人・就職に関する分析報告書」 31

# (2) 求人・求職状況②

## 求人数 (単位：施設)

※求人数の多い施設 (上位抜粋)



## 求職者数 (単位：人)

※求職者数の多い施設 (上位抜粋)、複数回答

